

みづか

### 10. 水塚 (栄町)

水塚とは、洪水から生命と財産を守るために母屋のほかに、土台を高くしたところに別棟の住居を建築したもので、洪水がおきたときには家財道具や米などを運び水が引くまでそこで暮らしました。栄町は水辺の町として昔から洪水と闘ってきた歴史があり、この水塚も当時の人たちの知恵で出来たものなのです。「ちば 文化的景観」に選定されています。



### 11. ふるさとかわち (河内町)

「ふるさとかわち」は国道408号線沿いにあり、河内町産の米や野菜、加工品などを販売しています。特に、全国で初めて食味分析計を使用し、食味の数値を表示している「おかずのいらぬかわちのお米」は、様々なPR活動の甲斐もあり、多くの方々に親しまれております。



こうざきじんじゃ

### 12. 神崎神社 (神崎町)

7000坪あまりの境内は「神崎の森」ともよばれ全域が県の天然記念物に指定されています。本殿脇にそびえたつ大クスは国の天然記念物。かつて水戸光圀公が参詣したときに、「この木はなんというもんじゃ」と自問自答したという話から「なんじゃもんじゃの木」とよばれています。



いなしきしりつれきし みるぞくしりょうかん

### 13. 稲敷市立歴史民俗資料館 (稲敷市)

広大な水田の一角に近代的な建物が目立つ市立の歴史民俗資料館。資料館には約4千年前の貝塚の発掘品から現代までの稲敷市(旧東町)の歴史・民俗資料が数多く展示されています。またもう一つの特徴として、稲敷市出身の第7代横綱稲妻雷五郎を中心とした貴重な遺品などは相撲ファンならずとも必見の価値あり。



おかだいらかいづか

### 14. 陸平貝塚<国指定史跡> (美浦村)

日本屈指の縄文遺跡で、霞ヶ浦に面した安中台地にあり、東西約250m、南北約150mにおよぶ台地の斜面に点在する大小8カ所の貝塚群は、縄文時代早期から後期のものです。貝塚周辺には縄文人の生活の舞台となった谷や台地がほぼ完全な形で残されており、国内有数の規模と保存状態を誇る貝塚遺跡です。



ほび せん

### 15. 帆引き船 (行方市)

帆引き漁は明治初期に旧霞ヶ浦町の折本良平が大徳網による人力の漁から風力を利用して考案したもので霞ヶ浦にて普及しました。行方市では、水辺のにぎわいを取り戻すためのシンボルとして更にワカサギ漁で活躍した霞ヶ浦北浦の文化遺産として5艘の帆引き船を復活させ、観光帆引き船として運航しています。



よこと ねこうもん

### 16. 横利根開門 (稲敷市～香取市)

利根川と横利根川の合流部につくられた横利根開門は、利根川の増水時に洪水が霞ヶ浦に逆流するのを防ぐためにつくられました。釣船やボートなどが開門を利用し、その際には扉の開閉や水位調節のしくみを見ることが出来ます。レンガと御影石による独特の様式は歴史的建造物であるため、平成7年に改築。桜が咲きそろそろ季節には絶景のポイントともなります。



おのがわぞ れきしき まちなみ

### 17. 小野川沿いの歴史的な町並み (香取市)

香取市佐原を流れる小野川沿いには江戸から明治にかけての蔵造りや町屋の建物など、かつて舟運で栄えた商業都市の面影が、趣ある町並みとして残されています。国指定史跡や県指定文化財をふくみ80軒あまりの歴史的な建造物は、時代を超えてタイムスリップしたような気分を味わえることでしょう。



くろべがわ すいじょう

### 18. 黒部川の水上市スポーツ (香取市)

夏になると、黒部川では「市民レガッタ」「水上スキー」「カヌー大会」など水上スポーツイベントが目白押し。最近では国際大会も数多く開催され「水上スポーツのメッカ」として脚光を浴びています。また8月に行われる水郷おみぎわ花火大会は、関東有数の歴史と規模を誇り、水の郷小見川を象徴する夏の風物詩としても有名です。

